

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	みらいく高松2丁目園
施設所在地	埼玉県狭山市祇園23-25
事業者名	株式会社第一コーポレーション

1. 活動のテーマ

<テーマ>

様々な遊びを通して身体の使い方について知る

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

身体を動かして遊ぶことを好んでおり、日々の運動遊びでも「どうやってやるの?」と身体の使い方を尋ねる姿が見られる。様々な遊びを通して身体の使い方を探求し、子どもにちかづけることを増やしていく。

2. 活動スケジュール

9月 微細運動 ~15分 / 週3回
10月 粗大運動 ~20分 / 週2回
11月、12月 巧技台 ~20分 / 週2回
1月 リトミック ~20分 / 週1回

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・微細運動 (スポン、トンガ、折り紙、ひも通し、はさみ)
- ・粗大運動 (10月~12月) 巧技台、マット、鉄棒、フックーロ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・はさみを使えるようになることを目標とし、スプーンやトンガを使って移動かえ、ひも通し、紙をちぎるなどの活動を行い、たに移動かえでは、色によって分けたり入れ物の大きさを小さくしたりと子どもたち自身で難易度を調整し、遊びを探索する姿が見られた。
- ・巧技台のはしごやビームなど1つずつ取り組み、子どもたち自身で遊び方を探索していく。その後巧技台のすべての要素を組み合わせてサーキットを作り、主体的に遊びこんでいく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・指先を使った遊びでは、難易度と自分で調整したり友達と一緒に遊びを展開させていたりしながら集中に取り組む姿が見られた。
- ・巧技台では保育者が遊ぶ順番やルートを決めなくても、子どもたちだけで声をかけあひたり譲りあひたりしながら遊びこんでいく姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・微細運動と粗大運動は綿密に関わっており、身体機能の成長にはどちらも不可欠であると感じた。
- ・すくわの活動を通して子どもたちの体幹などの身体機能が成長し、怪我をしにくくなったと感じる。
- ・微細運動を通じ、衣服・着脱など身辺自立にもつながった。